

ごみを捨てないで！！



スクリーンに付着するゴミ



河川内のゴミ



高見機場清掃状況



引き上げたゴミの一部

高見機場に堆積しているゴミの撤去を行いました。ポンプにより水を吸い込んでいるため、ゴミは取水口に吸い寄せられてたくさんたまります。平成27年の堆積物処分量は約 150 tでしたが、平成28年は約 360 t、2倍以上の堆積物処分量でした。ちなみに、4人家族の1年間のゴミの量は約 1.6 t ですから約200倍以上のゴミが堆積していることとなります。

小さなゴミでも大きな塊になれば、取水ポンプに甚大な被害をもたらす場合もありますので、ゴミを捨てないようにお願いします！



ポイ捨ては条例違反です！！

違反行為に対しては、関係刑罰法規の適用を捜査機関に対して要請します。
(大阪市空き缶等の投げ捨て等の防止に関する条例で氏名公表をされることもあります)



取水口に集まったゴミ



花火の季節は…

写真は、取水口で回収されたゴミです。ペットボトルやビニール袋、ブルーシート等が混じっています。中でも、ビニール袋やブルーシートは、取水に大きな影響を及ぼします。

※高見機場では監視カメラを数台設置しており、悪質な行為は
発見次第警察へ通報します。

高見機場水槽内を清掃しました



高見機場でもっとも多く確認される生物は、コウロエンカワヒバリガイやフジツボなどです。これらの貝は、繁殖力が高く、壁や床に付着し、さらに貝の上に貝が付着していきます。貝が付着することにより、高見機場内の水を流す体積が減ることから水を流す量が減ってしまいます。

また、貝が死滅すると、壁から剥がれおち、溜まるとゲートの切替やスクリーンが閉まらなくなり、ポンプ運転ができなくなります。そのように事態にならないように、**毎年清掃を実施し、負荷の軽減を行っております。**